	上美尚寺·	専門学校	開講年度	令和04年度 (2	2022年度)	授業科目	インターンシップ			
付日基份	整情報		,		,		•			
科目番号	<u> </u>	0026			科目区分	専門 / 必何	修			
授業形態		実験・実習				学修単位:				
開設学科		1	プロジェクトデザイン工学専攻			専1				
開設期		前期			週時間数	前期:20				
教科書/教			はプリント配布、実習先で配布される ⁴		学術図書等					
担当教員				,間瀬 実郎,大和 義						
到達目標	<u> </u>	,	,	,						
3. インタ 評価方法 評価基準	ターンシッ? 学外実習 達成目標	ブの成果を報告 機関の指導責任	i会で報告できる f者による所見およ		の実習内容を振り返る %、実習発表会 5 0 9 ば合格とする。					
ルーブリ	<u> </u>		1		T					
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1			性,社会性等の基本を身に付け 性,社会 ,インターンシップに十分に活用 ,インタ		社会人として必要な性, 社会性等の基本 , インターンシップ用できる	を身に付け	社会人として必要な自主性, 創造性, 社会性等の基本を身に付けることができないあるいはインターンシップにほとんど活用できない			
評価項目2	2		, 実習日誌を十分 内容を振り返る。		実習計画に沿って実習でき,実習 日誌を使って実習内容を振り返る ことができる		実習計画に沿った実習がまったく できない, あるいは, 実習日誌を 作成できていない			
評価項目3			インターンシップ , 報告会におい テーションで報行	プの成果について て優れたプレゼン 告できる。	インターンシップ <i>の</i> で報告できる	放果を報告会	インターンシップの成果を報告会 で報告できない			
学科の到	到達目標工	項目との関係	K							
学習・教育	9到達度日 15数十二/1	標 専攻科の学習	習・教育目標 (SD)						
	境都市(H)								
シップ前(この科目(学修してきた専門分野に対応する校外実習機関(企業や大学等)において、専門分野に関連する実習を行い、する社会の要請を習得するとともに学問の意義を認識し、エンジニアとしての自主性を養成する。インターンこ社会人として必要な自主性、社会性の基本を身に着けるため、事前研修を行う。【複数教員担当方式】 は校外実習機関(企業や大学等)において、実習形式で授業を行うものである。							
授業の進め方・方法		レボート課。 【新型コロ	にて事前教育を行った後、学外機関にて実習を行う。 学自習の実施内容と確認方法】この科目は学修単位科目のため、インターンシップに関する書類の作成、事前研修 ート課題、インターンシップ期間中の実習日誌、報告会プレゼンテーション資料の内容により学習状況を確認する 型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する可能性があります.】							
							1			
注意点		実習期間中 とを望む。 派遣先での 履修実時間	は傷害保険に必ず 実習は5月9日以降 数360時間以上の	加入すること。学 峰〜7月下旬とし、 インターンシップ:	履修実時間数は1日 期間を満了しない場合	え。 食することによ 8 時間、週 5 日 なは評価は行われ	・ り自己能力を開発する基礎を養うこ の場合9週間以上とする。 ない。上記履修時間数には、インタ-			
	星性• 履	実習期間中とを望む。 派遣先での 履修実時間 ンシップ報	は傷害保険に必ず 実習は5月9日以降 数360時間以上の	加入すること。学 峰〜7月下旬とし、 インターンシップ:	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日	え。 食することによ 8 時間、週 5 日 なは評価は行われ	り自己能力を開発する基礎を養うこ の場合9週間以上とする。			
授業の属		実習期間中とを望む。派遣先での履修実時間ンシップ報	は傷害保険に必ず 実習は5月9日以降 数360時間以上の 法会(報告書作成等	加入すること。学 峰〜7月下旬とし、 インターンシップ:	問と生産の関係を体態履修実時間数は1日期間を満了しない場合別を含めることができ	え。 食することによ 8 時間、週 5 日 なは評価は行われ	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。 ない。上記履修時間数には、インタ-			
授業の属	<u>属性・履作</u> =ィブラーコ	実習期間中とを望む。派遣先での履修実時間ンシップ報	は傷害保険に必ず 実習は5月9日以降 数360時間以上の	加入すること。学 峰〜7月下旬とし、 インターンシップ:	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日 期間を満了しない場合	え。 食することによ 8 時間、週 5 日 なは評価は行われ	り自己能力を開発する基礎を養うこ の場合9週間以上とする。			
授業の属 □ アクテ	-ィブラーニ	実習期間中とを望む。派遣先での履修実時間ンシップ報	は傷害保険に必ず 実習は5月9日以降 数360時間以上の 法会(報告書作成等	加入すること。学 峰〜7月下旬とし、 インターンシップ:	問と生産の関係を体態履修実時間数は1日期間を満了しない場合別を含めることができ	え。 食することによ 8 時間、週 5 日 なは評価は行われ	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。 ない。上記履修時間数には、インタ-			
授業の属	-ィブラーニ	実習期間中とを望む。派遣先での履修実可難シシップ報	は傷害保険に必ず 実習は5月9日以降 数360時間以上の 法告会(報告書作成等	加入すること。学 峰〜7月下旬とし、 インターンシップ:	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 (1)を含めることができまる。 遠隔授業対応	え。 後することによ 8 時間、週 5 日 は評価は行わ でる。	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。 ない。上記履修時間数には、インター は、上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授業			
授業の属	-ィブラーニ	実習期間中とを望む。派遣先での履修実でが整上の区分ニング	は傷害保険に必ず 実習は5月9日以降 数360時間以上の 法告会(報告書作成等 □ ICT 利用	が入すること。学	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 (1)を含めることができ (1) 遠隔授業対応	で、 後することによ 8 時間、週 5 日 合は評価は行わっ でる。	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。 の場合9週間以上とする。 ない。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授業			
授業の属	-ィブラーニ	実習期間中とを選択した。 派遣を見いる 原修主の区分 アング 週 1週 1	は傷害保険に必ず 実習は5月9日以降 数360時間以上の 法告会(報告書作成等 □ ICT 利用	加入すること。学 4~7月下旬とし、 インターンシップ 等を含む最大 8 時間 ないます。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまなななな。 ないまななななななななななななななななななななななななななななななななななな	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 (1)を含めることができ (1)を含めることができる。 (1)を含める	で 検することによ 8 時間、週5日 は評価は行わ でる。 ごとの到達目標 習概要、実習先	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。 ない。上記履修時間数には、インター は、上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授業			
授業の属 □ アクテ	-ィブラーニ	実習期間中とを選択した。派遣先のでの限をシップを上の区分につく 週 担週 マーフ 2週 マーフ 20	は傷害保険に必ず の実習は5月9日以降 数360時間以上の 会告会(報告書作成等 口 ICT 利用	が加入すること。学 な 7 月下旬とし、 インターンシップ 等を含む最大 8 時間 変更説明と実習先決 動物育・研修	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 引)を含めることができ 遠隔授業対応 週 定定 実	で、 検することによ 8 時間、週5日 は評価は行わった。 ごとの到達目標 習概要、実習符 会人として必要 身に付ける	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。 ない。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授業			
授業の属	=ィブラー:	実習期間中。 実習期間中。 深遺を実実での限 変シック アング フング フング フック フッ	は傷害保険に必ず の実習は5月9日以降 が数360時間以上の 会告会(報告書作成等 □ ICT 利用 の 受業内容 (ンターンシップ根 (ンターンシップ根 (ンターンシップ根 (ンターンシップ根 (ンターンシップ根 (ンターンシップ根	加入すること。学 4~7月下旬とし、 インターンシップ 等を含む最大 8 時間 短要説明と実習先決 高前教育・研修 機関での実習実施 機関での実習実施	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 別を含めることができ 遠隔授業対応 週 実 土 を 実 実 実	で 会することによ 8 時間、週5日 合は評価は行わだる。 ごとの到達目標 習概要、として必要 身に付ける 習先から要求な 習内容を習得す	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授証 実務経験のある教員による授証 はの調整、受け入れ条件把握 は自主性、創造性、社会性等の基本 された必要知識を予習する こるとともに自主性を養成する			
授業の属 □ アクテ	-ィブラーニ	実習期間中。 実習期間中。 影響を記憶をする での間を記憶をある。 での区分 こング 週	は傷害保険に必ず の実習は5月9日以降 関数360時間以上の 会告会(報告書作成等 □ ICT 利用 受業内容 (ンターンシップ根 (ンターンシップ様 (ンターンシップ様	加入すること。学 4~7月下旬とし、 インターンシップ 等を含む最大 8 時間 短要説明と実習先決 高前教育・研修 機関での実習実施 機関での実習実施	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 別を含めることができ 遠隔授業対応 週 実 土 を 実 実 実	で 会することによ 8 時間、週5日 合は評価は行わだる。 ごとの到達目標 習概要、として必要 身に付ける 習先から要求な 習内容を習得す	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授証 との調整、受け入れ条件把握 な自主性、創造性、社会性等の基本された必要知識を予習する			
授業の属	=ィブラー:	実習期間中。 実習を記しての間報を記しての間報を記しての間報を記しての間報を表しての区分	は傷害保険に必ず の実習は5月9日以降 が数360時間以上の 会告会(報告書作成等 □ ICT 利用 の 受業内容 (ンターンシップ根 (ンターンシップ根 (ンターンシップ根 (ンターンシップ根 (ンターンシップ根 (ンターンシップ根	加入すること。学 4~7月下旬とし、 インターンシップ 等を含む最大 8 時間 数要説明と実習先決 動教育・研修 機関での実習実施 機関での実習実施 機関での実習実施	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 別を含めることができ 遠隔授業対応 遺定 実 土土 東 実 実 実	で 会することによ 8 時間、週5日 合は評価は行わだる。 ごとの到達目標 習概要、 して必要 会人に付ける要求で 習内容を習得す 習日誌の作成を	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授証 との調整、受け入れ条件把握な自主性、創造性、社会性等の基本された必要知識を予習するこるとともに自主性を養成する			
授業の属	=ィブラー:	実習期間中。 実習期間中。 深で間野を発生実験の アング ア	は傷害保険に必ず 対象360時間以上の は数360時間以上の は告会(報告書作成等 は一 ICT 利用 は一 ICT 利用 は一 ICT 利用 は一 ICT 利用 は一 ICT 利用 は一 ICT 利用 は一 ICT 利用 は ICT 利用 は ICT 利用 は ICT 利用	加入すること。学 を 7月下旬とし、 インターンシップ 等を含む最大 8 時間 変更説明と実習先決 動物育・研修 機関での実習実施 機関での実習実施 機関での実習実施 機関での実習実施 機関での実習実施	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 別を含めることができ 遠隔授業対応 週 実社を 実実 イ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を 後することによ 8 時間、週5日 6は評価は行わった。 さる。 ごとの到達目標 習概要、しける 実て必要 身に付ける。 習内容を習得する。 習内容を習得する。 翌日誌の作成を 翌日は、から要求る。 20日はのである。 20日は、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、第一のでは、	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。 はい。上記履修時間数には、インターはい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授証の調整、受け入れ条件把握な自主性、創造性、社会性等の基本された必要知識を予習する こるとともに自主性を養成する こるとともに自主性を養成する こんともに自主性を養成する こんともに自主性を表がする こんともに見ませて教育する こんともに見ませて教育する こんともに は機械工学系の職務内容を行う			
授業の属 □ アクテ 授業計画	=ィブラー:	実とがに 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	は傷害保険に必ず 対象 360時間以上の は告会(報告書作成等 位 ICT 利用 で ICT Nので ICT で ICT	加入すること。学 を一7月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とり、 3月での実習生施 2月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 別を含めることができ 遠隔授業対応 湿定 実 社を 実 実 イ・・。	で、会では、 は で は で は で か で か で か で か で か で か で か で	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インターはい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授業 は 1 実務経験のある教育する は 1 実際の責任者と連携して教育する 1 実際の学生は機械工学系の職務内容を行う 1 実の学生は電気電子工学系の職務内容を行う 1 また。 1 またま 1 またまま 1 またま 1 またま 1 またまま 1 またま 1 またま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまままま 1 またままま 1 またまままままままま			
授業の属 □ アクテ 授業計画	=ィブラー:	実とがに 別の区分 この区分 この区 この この区 この この この この この この この この	は傷害保険に必ず 実習は5月9日以降 関数360時間以上の は告会(報告書作成等 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	加入すること。学 を一7月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とし、 2月下旬とり、 3月での実習生施 2月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施 3月での実習実施	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 別を含めることができ 遠隔授業対応 湿定 実 社を 実 実 イ・・。	で、会では、 は で は で は で は で は で は で は で は で は で	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インターはい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授業 は 1 実務経験のある教育する は 1 実際の責任者と連携して教育する 1 実際の学生は機械工学系の職務内容を行う 1 実の学生は電気電子工学系の職務内容を行う 1 また。 1 またま 1 またまま 1 またま 1 またま 1 またまま 1 またま 1 またま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまままま 1 またままま 1 またまままままままま			
授業の属 □ アクテ 授業計画	=ィブラー:	実とに遺化 1	は傷害保険に必ず 対象 360時間以上の は告会(報告書作成等 位 ICT 利用 で ICT Nので ICT で ICT	加入すること。学 4~7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬とし、 7月下旬との実習実施 8関での実習実施 8関での実習実施 8関での実習実施 8関での実習実施 8関での実習実施 8関での実習実施 8関での実習実施 8関での実習実施 8関での実習実施	問と生産の関係を体 履修実時間数は1日 期間を満了しない場合 引)を含めることができ 遠隔授業対応 虚定 実 実 実 ・ え ・ 容 ・ 行	で、会では、 は で は で は で は で は で は で か に よ の の で は で で で で で で で で で で で で で で で で	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インターはい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授業 は 1 実務経験のある教育する は 1 実際の責任者と連携して教育する 1 実際の学生は機械工学系の職務内容を行う 1 実の学生は電気電子工学系の職務内容を行う 1 また。 1 またま 1 またまま 1 またま 1 またま 1 またまま 1 またま 1 またま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまま 1 またまま 1 またままま 1 またまままま 1 またままま 1 またまままままままま			
授業の属 □ アクテ 授業計画	=ィブラー:	実と派優な 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一	は傷害保険に必ず 対象360時間以上の 設告会(報告書作成等 位置 ICT 利用 では、アンターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを インターンシップを	加入すること。学 第~7月下旬とし、プ 第~7月下旬とし、プ 第~7月下旬とし、プ 第一次のまで、 第一次ののよりでのよりでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次のでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次の。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次ののまでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでの。 第四次のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので	問と生産の関係を体 履修実時間数は1日 期間を満了しない場合 引)を含めることができ 遠隔授業対応 虚定 実 実 実 ・ え ・ 容 ・ 行	で、会では、 は で は で は で は で は で は で か に よ の の で は で で で で で で で で で で で で で で で で	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インターはい。上記履修時間数には、インターをおい。上記履修時間数には、インターをおいる。 実務経験のある教員による授業をの調整、受け入れ条件把握はな自主性、創造性、社会性等の基本をおた必要知識を予習するであるともに自主性を養成するを通して日々の実習を把握するで、通して日々の実習を把握するで、機関の責任者と連携して教育するの学生は機械工学系の職務内容を行うで、野の学生は電気電子工学系の職務内容ををある。			
授業の原 □ アクテ 授業計画	「 1stQ	実と派遣修シ 区分 上 グ 週	は傷害保険に必ず 対象360時間以上の 設告会(報告書作成等 は数360時間以上の 設告会(報告書作成等 はなりません。 はなりないでする はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はなりないでする。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	加入すること。学 第~7月下旬とし、プ 第~7月下旬とし、プ 第~7月下旬とし、プ 第一次のまでのよりである。 一次ののまででのよりでののまでのでのまででの。 一次のでのまでは、 一次のでのまでは、 一次のでのまでは、 でのまでのまでは、 でのまでのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまでは、 でのまででがででがでがでがででででがでがでがででがでがでがでがでがでがでがでがで	問と生産の関係を体 履修実時間数は1日 期間を満了しない場合 引)を含めることができ 遠隔授業対応 虚定 実 実 実 ・ え ・ 容 ・ 行	で、会では、 は で は で は で は で は で は で か に よ の の で は で で で で で で で で で で で で で で で で	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授証 実務経験のある教員による授証 との調整、受け入れ条件把握 は自主性、創造性、社会性等の基本 された必要知識を予習する るとして日々の実習を把握する で 選して日々の実習を把握する で 機関の責任者と連携して教育する で 学生は機械工学系の職務内容を行う 野の学生は電気電子工学系の職務内容を			
授業の属	=ィブラー:	E	は傷害保険に必ず 対象360時間以上の は数360時間以上の は告会(報告書作成等 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでは、 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりでは、 ではなりではないでは、 ではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	加入すること。学 ・ ア月ーンシット ・ アリーンシット ・ アリーンシャー ・ アリーンシャー ・ アリーンシャー ・ アリーンシャー ・ アリーンシャー ・ アリーンシャー ・ アリーシャー ・ アリーンシット ・ アリーンシャー ・ アリー ・ アリーン ・ アリーン ・ アリーン ・ アリーン ・ アリーン ・ アリーン ・ アリーン ・ アリーン ・ アリーン ・ アリー ・ アリーン ・ アリー ・ アリー	問と生産の関係を体 履修実時間数は1日 期間を満了しない場合 引)を含めることができ 遠隔授業対応 虚定 実 実 実 ・ え ・ 容 ・ 行	で、会では、 は で は で は で は で は で は で は で は で は で	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インターはい。上記履修時間数には、インターをおい。上記履修時間数には、インターをおいる。 実務経験のある教員による授業をの調整、受け入れ条件把握はな自主性、創造性、社会性等の基本をおた必要知識を予習するであるともに自主性を養成するを通して日々の実習を把握するで、通して日々の実習を把握するで、機関の責任者と連携して教育するの学生は機械工学系の職務内容を行うで、野の学生は電気電子工学系の職務内容ををある。			
授業の原 □ アクテ 授業計画	「 1stQ	Part	は傷害保険に必ず 対象 1 に 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	加入すること。学 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一次では、 第一	問と生産の関係を体 履修実時間数は1日 期間を満了しない場合 引)を含めることができ 遠隔授業対応 虚定 実 実 実 ・ え ・ 容 ・ 行	で、会では、 は で は で は で は で は で は で は で は で は で	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授証 実務経験のある教員による授証 との調整、受け入れ条件把握 は自主性、創造性、社会性等の基本 された必要知識を予習する るとして日々の実習を把握する で 選して日々の実習を把握する で 機関の責任者と連携して教育する で 学生は機械工学系の職務内容を行う 野の学生は電気電子工学系の職務内容を			
授業の原 □ アクテ 授業計画	「 1stQ	E	は傷害保険に必ず は傷害保険に必ず は傷害保険に必ず は数360時間以上の は告会(報告書作成等 にて利用 ではなターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根 インターンシップ根	加入すること。学 第一次 1 日とし、 第一次 2	問と生産の関係を体 履修実時間数は1日 期間を満了しない場合 引)を含めることができ 遠隔授業対応 虚定 実 実 実 ・ え ・ 容 ・ 行	で、会では、 は で は で は で は で は で は で は で は で は で	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授証 実務経験のある教員による授証 との調整、受け入れ条件把握 は自主性、創造性、社会性等の基本 された必要知識を予習する るとして日々の実習を把握する で 選して日々の実習を把握する で 機関の責任者と連携して教育する で 学生は機械工学系の職務内容を行う 野の学生は電気電子工学系の職務内容を			
授業の属 □ アクテ 授業計画	「 1stQ	E P P P P P P P P P	は傷害保険に必ず 対象360時間以上の 設ち会(報告書作成等 は協会(報告書作成等 は合会(報告書作成等 はとなりでする。 にて利用 にて利用 にて利用 にて利用 になターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にンターンシップ根 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでな にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、 にいるのでは、	加入すること。学 第一次 1 日とし、 第一次 2	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 関のであることができます。 遠隔授業対応 遺実 建定 実実 実 実 ま 子・。 ・容・行・・	で、会では、 は で は で は で は で は で は で は で は で は で	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授証 実務経験のある教員による授証 との調整、受け入れ条件把握 は自主性、創造性、社会性等の基本 された必要知識を予習する るとして日々の実習を把握する で 機関の責任者と連携して教育する で 学生は機械工学系の職務内容を行う 野の学生は電気電子工学系の職務内容を			
授業の原理を受ける。	コstQ 2ndQ	E P P P P P P P P P	は傷害保険に必ず 実習は5月9日以降 対数360時間以上の 設告会(報告書作成等 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	加入すること。学年~7月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月一日とり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にりにり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にり、1月日にりにり、1月日にりにり、1月日にりにりにりにりにりにりにりにりにりにりにりにりにりにりにりにりにりにりにり	問と生産の関係を体験 履修実時間数は1日期間を満了しない場合 関のであることができます。 遠隔授業対応 遺実 建定 実実 実 実 ま 子・。 ・容・行・・	で、会では、 は で は で は で は で は で は で は で は で は で	り自己能力を開発する基礎を養うこの場合9週間以上とする。はい。上記履修時間数には、インター 実務経験のある教員による授証 実務経験のある教員による授証 は まで まず			

				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 能力」の必要性を認識している。				4	
				活用・応用されているかを認識できる。 企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。			4		
				を行った事例を挙げ 高専で学んだ専門を	<u>げることができる。</u> 分野・一般科目の知	 □識が、企業等でど		4	
				技術者として、幅成とされることを認識技術者が知恵や感情	哉している。			4	
				社会人も継続的に成している。				4	
				企業活動には品質、ことを認識している	3.			4	
分野横断的 能力	態度・志向 性(人間力)	態度・志向 性	態度・志向 性	調査、インターン の抱える課題を説明	シップ、共同教育等 別できる。	等を通して地域社会	・産業界	4	
				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。				4	
				の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。 企業には社会的責任があることを認識している。				4	
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己				4	
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。				4	
				ように活用・応用を	されるかを説明でき	きる。		4	
				きことを多面的に 高専で学んだ専門を	判断できるなど)を	認識している。			
				これからのキャリス難に直面したときの	アの中で、様々な困	 図難があることを認	認識し、困	4	
				キャリアの実現に随識している。		_		4	
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。 その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かってい くために現状で必要な学習や活動を考えることができる。			4		